

横浜市新型コロナウイルス感染症緊急特別資金 資格申告書 【売上15%以上減少型・別枠プラス】

年 月 日

(申告先)
横浜市信用保証協会会長

(申告者)所在地
(市内支店等)
企業名(屋号)
代表者名

横浜市新型コロナウイルス感染症緊急特別資金(売上15%以上減少型・別枠プラス)の融資申込にあたり、融資申込有資格者として申告します。なお、下記の売上高は、当社の社内管理資料の内容と相違ありません。

1 新型コロナウイルス感染症の発生に起因した売上高の減少の事情

※最近1か月の売上高が減少している事情及びその後2か月の売上高が減少する見込みの事情の2つについて記載してください。

2 売上高の減少 ※(1)と(2)をともに満たすことが必要

(1) 最近1か月の売上高の推移等(15%以上の減少が要件)

最近1か月の売上高	前年同月の売上高	減少率 (②-①) ÷ ② × 100
年 月	年 月	%
① 千円	② 千円	(少数点第2位を四捨五入)

*「最近1か月」の月別試算表(損益計算書)を添付してください。

*「最近1か月」とは、申告月の前月又は申告月の前々月です。(ただし、2月以降)

【例1】3月に申告する場合の「最近1か月」 2月、【例2】4月に申告する場合の「最近1か月」 3月又は2月

*創業後1年を経過しておらず、前年の売上高を比較できない場合には、以下のいずれかの比較も可能。

- ①最近1か月の売上高が、最近1か月を含む最近3か月間の平均売上高と比較して、15%以上減少していること。
- ②最近1か月の売上高が、令和元年12月の売上高と比較して15%以上減少しており、かつ、その後2か月間を含む3か月間の売上高が令和元年12月の売上高の3倍と比較して15%以上減少することが見込まれること。
- ③最近1か月の売上高が、令和元年10月から12月の平均売上高と比較して、15%以上減少しており、かつ、その後2か月間を含む3か月間の売上高が令和元年10月から12月の売上高と比較して15%以上減少することが見込まれること。

(2) (1)の期間を含めた今後3か月間の売上高の実績見込み(15%以上の減少が要件)

(1)の期間後2か月間を含む3か月間の見込み売上高	前年同期の売上高	減少率 (②-①) ÷ ② × 100
年 月	年 月	%
① 千円	② 千円	(少数点第2位を四捨五入)

【取扱金融機関使用欄】

上記の者は本資金の要件に該当することを確認しました。

年 月 日

取扱金融機関名・支店名	印
担当者氏名・連絡先	

